

# 文章題テスト・説明／論説(2)

月 日  
名 前

★ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

大切なのは視線しせんです。どこを見るかということですが、特に、相手の目と視線を合わせ  
ることをこれはアイコンタクトといます。

これも文化によって違ちがいます。タトえば、バン格拉デッシュでは、目上に対しては下を  
むいたまま話をするそうです。日本でも、昔はどちらかというところだったようですし、  
今でも、日本では、子供が親に怒おこられるとき、じっと親の目を見たりはしません。話を聞  
いているという印いとして、相手の目を時々は見ますが、じっと見つめることは、むしろ、  
反抗はんこうの気持ちを表すことになるのではないでしょうか。

一方、イギリスの人から聞いたのですが、小さいころ、親からしかられるとき、よく、

「私の目を見なさい！」

と言われたといます。相手の目を見ないことは、相手の話をきちんと聞かないというこ  
となのだそうです。

ただし、日本でも、相手と話をする場合には、きちんと思いを伝えるとき、時々相手  
の目を見るのが普通のようにです。学生時代、面接試験めんせつしけんの時は、相手のネクタイのあたりを  
見なさい、と教えられました。自分が面接員になった時の個人的印象では、ぼんやりと  
目を合わせないままでいるよりは、 時々相手  
の目を見てしっかりアイコンタクト  
を取るほうエが自信エをもって話をしてい  
るような気がします。

前に自動車の販売はんをしている人から伺うかがった話ですが、商談をする場合には、複数ぶくの相手  
がいれば、必ず、一人一人の目を見るように気をつけているそうです。相手の目を見ない  
で話をする、まるでその人を無視むししているような印象あを与あたえてしまい、その人が気分を  
ワルくする可能性かのうせいがあるからです。これは発表をする場合などでも同じなのではないでし  
ょうか。話を聞いてくれる一人一人を大切にするという思いを、アイコンタクトによって  
表すことができるのです。これは大切なことです。

(森山 卓郎「コミュニケーションの日本語」より)



1 線ア～オについて、漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

ア 音読みは「レイ」。例文、一例など。

イ 音読みは「イン」。印字、調印など。総画数は6画。

例(えは)

イ しるし

ウ 「接」の訓読みは「つーぐ」。接ぎ木など。エ 「信」は音読みだけの漢字。へんは「にんべん」

ウ めんせつ

エ じしん

オ 悪(く)

オ 音読みは「アク」。悪人、悪役など。

2 線「じっと親の目を見たりはしません」とありますが、「じっと」はどのことばを修飾(しゅうしやく) (くわしく) していますか。ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア 親の イ 目を

ウ 見たりは

エ しません

「じっと」↓「見る」。「じっと」は、どのように見るのかをくわしく説明していることば。

3 [ ]に当てはまる最も適当なことばを、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア まるで

イ むしろ

ウ とても

エ かなり

「...よりは、むしろほうが」というつながり。

4 線「文化によって違います」とありますが、相手と話をする場合の、文化による違いを、次のようにまとめました。①、②に当てはまることばを、①は文中から八字で書きぬぎ、②は十字以内で書きなさい。

①

|| 目上に対しては下をむいたまま話をする。

イギリス

||

②

話を聞く。

①

バン グ ラ デ ッ シ ュ

②

(じ っ と) 相手の目を見て

①3、4行目にバングラデッシュ、②8、11行目にイギリスでのアイコンタクトの考え方が書かれている。イギリスでは、相手の目を見ないと、話をきちんと聞いたことにならない、とあることに着目。

5 この文章で筆者が言いたかったことを次のように説明するとき、[ ]に当てはまることばを、文中から七字で書きぬぎなさい。最後の二文に、筆者がいちばん言いたかったことがまとめられている。

ア イ コ ン タ ク ト

によって、話を聞いてくれる人を大切にす、

という思いを表すことができる。

